

脱炭素社会づくり（こうべ）セミナー（第3回） 開催

11月25日13時30分～16時30分、しあわせの村 研修館 大会議室にて、脱炭素社会づくり（こうべ）セミナー（第3回）を開き32名が参加しました。

神戸市シルバーカレッジ講師・関西学院大学講師 横山孝雄先生より、ご講演いただきました。

「脱炭素社会のしあわせの村」が実現出来ないか研究活動を進めていくために「脱炭素社会づくり」のビジョンを理解し、構築していく手法を学習し実践していくためのセミナーを3回に亘って開催しました。今回は最終回で、**世界・人間のグレートリセット・地域市民編** についての講演でした。

香川会長
のあいさつ



関根研究員
の司会



こうべ脱炭素社会づくり研究会、グループわ、創エネ神戸、シルバーカレッジの在校生、卒業生など32名が参加しました。

第1部として、横山孝雄先生より、約110分間ご講演いただきました。



75 頁のテキストを、大型スクリーンに映してご紹介いただきました。 印刷して配布もしました。

- ・ IGES の発表文書・神戸に関わること。 ・ 家庭部門に強いられる 66%削減—どうやって？
- ・ 買い物から始まる脱炭素生活・CFP 表示の意義 ・ 頑張る自治体でできる、脱炭素行政アクション
- ・ 脱炭素で安ければ、なお良し—好循環を生むか・ゼロカーボン宣言をしている都市の取り組み事例
- ・ 始まっている、CO₂ の排出量を表示する脱炭素ビジネス、世界を変える！？
- ・ さあ—どうつくる脱炭素社会・神戸 (IGES ; 地球環境戦略研究機関 CFP ; カーボンフットプリント)

例外なきすべての分野で、グレートリセットするには

これまでの30年、脱炭素化で何が不足していたか？ からの発想と取り組みが必要
色んな温暖化対策、買われて久しいですが

- ◆ 経済活動や生活行動のすべての面で、CO₂の見える化(数量の可視化)をする(すべての製品等に)。
- ◆ CO₂の経済的価値化(すべての経済活動や生活行動に伴い排出・吸収されたりするCO₂に価格表示を)。
- ◆ すべての経済活動や生活行動の主体者に、国の削減目標に準じた排出許可量を配分し超えない活動に努める。
- ◆ CO₂の増減を市場調整するための排出許可量の交換場を公的に設置し、CO₂の価格に基づいたCO₂の交換を実施したり、削減に応じた税等を減免する。

再生可能エネルギーとカーボンプライシングが、脱炭素社会実現のカギを握る

私たちが暮らす、社会のすべてを、脱炭素=脱化石エネルギーに

- ・ 電気
 - ・ ガス
 - ・ 都市ガス
 - ・ プロパンガス
 - ・ 燃料(液体)
 - ・ ガソリン
 - ・ 軽油
 - ・ 重油
 - ・ 灯油
- ・ 製造業
 - ・ 製鉄所
 - ・ プラスチック製造
 - ・ 自動車
 - ・ 他
- ・ 建設業(インフラ、ビル、マンション、住宅)
- ・ 流通業(各種の物流、多様な販売)
- ・ 農業(米、野菜、果実、畜産、漁業)
- ・ 国際交通(航空機、海運...)
- ・ 都市交通(電車、バス、タクシー...)
- ・ 市役所、病院、学校、駅、空港...
- ・ 家庭生活
 - ・ 住(建材等、断熱、他)
 - ・ 食(食料、調理器具、燃料、容器等)
 - ・ 衣(衣服、クローゼット、クリーニング等)
 - ・ 光熱・通信(各種家電、パソコン等)
 - ・ 移動手段(車、バイク)

これらすべての設備・機能・活動でエネルギーの脱炭素化=脱炭素を図るには...何が必要となるか？

それぞれがこれらのCO₂を排出しているか？知ることは...社会生活上の色々な場面で知るには...

CO₂を計り、すべての設備・機能・活動でのCO₂排出量を(商品)表示すること！

表示で商品や暮らしを選べることで...脱炭素が可能に！

でも、まだ何かが？

脱炭素社会づくりに取り組む時、日本には残された課題が

★ CO₂の削減効果の(経済)評価
★ CO₂の吸収効果の(経済)評価
★ Cの固定効果の(経済)評価
■ CO₂の排出費用の負担

※ 2012年に「地球温暖化対策」導入(11億1,200円)
「炭素税」の導入、14年を見送り、5年までに導入、先に送れば出るけど、導入からの年数が増えたら、トンあたり5000円未満、今の約20倍！暮らしや仕事はどうなるのか？ 失われた20年のしっぺ返しは？

(円) 0 5000 10000 15000

スウェーデン
スイス
フィンランド
ノルウェー
フランス
...

CO₂排出量1ト当たりの主要国の課税額
※ 2021年1月時点
▲ 1990年以降、この額の「炭素税」はいつまで続くか？

※ これって、フリーライダー行為、買われれば多くの負担を負うのは君たち、君さん、これっていいの？
※ 国内の再エネに取り組む事業者、官民とも、多くが事業から撤退！なぜか？ どうしないといけないの？

生活や地域で、より削減につながるには 家庭からのCO₂削減には

CO₂排出の少ない電力会社選びが、一番手取り早い

太陽光発電住宅
オフグリッド住宅

もいって、まずはご家庭でもできる

2018年度 家庭からの二酸化炭素排出量 国連平均内
約 4,150 kgCO₂/世帯

30.9%

※ 排出量は1282kgに当たり、自動車を持たない家庭では63%にもなる。

暮らしとCO₂—(たくさんありますが)ほんの一例を

地産地消や旬産旬消...が、なぜいいかの、一つの根拠づけ

※ 皆さんはわかっていますか？

暮らしの多くの場面でCO₂との関わりがわかれば、上手に賢い消費者になりますね。これって、立派な「脱炭素」生活です。

※ 私たち消費者は、「何」があったら賢い消費者になれるのでしょうか？

食とフードマイレージCO₂
住とウッドマイレージCO₂
製品とカーボンフットプリント(CFP)

※ 8kg CO₂

市役所が市内の再エネ電力(公共・民間)をつなぎ 再エネ電力の需給とその価値化を推進するシステム

佐賀市(役所)では、まちづくりの中心に「地域循環共生圏構想」を据え、4つの循環を大切にしながら施策を展開するという。

経済圏
地域環境
共生圏
人の循環

佐賀市内で地産された再エネが、間違いなく市内で地消されたという環境価値(CO₂の削減量など)を証書化する。

佐賀市(役所)では、まちづくりの中心に「地域循環共生圏構想」を据え、4つの循環を大切にしながら施策を展開するという。

販売する商品にCO₂情報を表示する例

■ カーボンフットプリント(CFP)制度

淡路島のお米「キヌヒカリ」を販売しているJA日の出展協

・ 淡路島の特産米である「淡路島キヌヒカリ」の商品10kgと5kgについて、CFP検証を行い、合格いたしました。
・ CFP(カーボンフットプリント)とは、Carbon Footprint of Productsの略称で、商品やサービスの原材料調達から生産・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組みです。
・ 今後は、生産者と消費者の両者がCO₂排出量削減についてお互いが考え、「見える化」された情報を用いて、更なるCO₂排出量削減を推進することを目指します。

脱炭素・再エネ推進は、地域の経済にも大きく貢献する

CO₂削減価値は、再エネとITを結び、持続可能な地域社会づくりを助ける—我がが神戸は？

★ 地域社会の(経済・生活)活動のすべての価値や段階で、CO₂の排出量を算定し見える化することで、生産〜流通〜購入消費の各段階をネットワークし、社会全体からCO₂の削減・脱炭素化を図る。

DX: デジタルトランスフォーメーション
★ IT農業、IT流通、IT販売、IT購入消費のように、他の産業分野においても、IT・DXの情報管理機能の中に、CO₂の発生量の削減がコントロールできる機能を持たせ、可視化された情報価値を全関係者間で共有する。

★ 農産物での作業の様子
★ 農産物での作業の様子
★ 農産物での作業の様子

佐賀市(役所)では、まちづくりの中心に「地域循環共生圏構想」を据え、4つの循環を大切にしながら施策を展開するという。

第2部の最初に、【こうべ脱炭素社会づくり研究会の紹介と会員募集】を行いました。

その後に「皆でわいわいディスカッション」を約40分間行いました。

進行役を神戸市シルバーカレッジ講師 環境省・環境カウンセラー 北尾進先生にいただきました。

事前に配布したアンケート用紙に記載したディスカッションテーマ案より参加者に2テーマ選んでもらい、上位2テーマについてディスカッションしました。

- ① 厳しい66%削減、家庭生活で取り組むには、何を、どうしたら・・・
 - ② ゼロカーボン宣言都市神戸に、望まれる脱炭素策には、どのようなものがあるか
- 多くの参加者より感想や意見が出ました。

- ・ 温暖化ガス排出量が見えたら活動がしやすくなる。 ・ 自宅のCO2排出量を知りたい。
- ・ 地域で活動を進めたい。 ・ 地産地消を進めたい。
- ・ ゼロカーボンの意識を、特に若い市民に伝えていきたい。
- ・ 家庭生活の中で、子供たちの未来のために、食事関係や節電などを進めたい。・・・



最後に、水上研究員から閉会のあいさつがありました。

なお、神戸新聞社より取材にこられました。

(作成 岡本紘一 生環 18)